

新型コロナウイルスに関連した高齢者施設での「口腔ケア」問題

八千代市歯科医師会 理事 中澤正博

緒言

日本でも本年 1 月頃より社会的な問題となり、現在では世界中を震撼させている新型コロナウイルス感染は、日本においても 2 月頃より急激な増悪傾向を示し、4 月、5 月と日本中でも緊急事態宣言が発令されて、すべての人の動きがストップした。その中で当初より私らが心配した問題に「高齢者施設の閉鎖」がある。特に摂食嚥下機能の低下した高齢者の口腔ケアは生命にもかかわる重大問題である。私事にはなるが認知症を患った実父は末期に至り認知症病棟に入院してわずか 1 週間で誤嚥性肺炎が原因で亡くなった。面会に向いた際に覗いた口腔内は入院前に当院でしっかり管理してケアされていた口腔内とは全く違うものであり、劣悪な状態に変化していた。病院側から当院での「プロフェッショナル口腔ケア」を承諾していただき、実父の口腔ケアを開始する直前の訃報であった。また、同業者の義父は 3 月に施設入所して、一度も面会できないままに誤嚥性肺炎でなくなったと聞く。このような体験からも今回の「高齢者施設の閉鎖」は、入所高齢者の口腔内環境を悪化させて、熱発や肺炎など様々な問題を誘発させる要因になるのではないかと考えた。

5 月 8 日金曜日、2 回目の緊急事態宣言が発令されたのを機に、満を持して、私は千葉県歯科医師会 砂川会長と東京医科歯科大学摂食嚥下リハビリテーション分野 戸原教授に同問題（高齢者施設の閉鎖によるプロフェッショナル口腔ケアが不十分なことによる入所高齢者の口腔内環境の悪化とそれに伴う誤嚥性肺炎等の発生）について相談し、高齢者施設へのアンケート調査に乗り出した。

「口腔ケア」とは

「口腔ケア」の起源は、“Oral care”を創設し、世界で初めて口腔ケアを解説した書を出版した Austin H. Kutscher が、まったくケアされていない終末期患者の悲惨な口腔内の状況に驚き、「口腔ケア」の重要性を広く知らせる必要性を感じ、「口腔ケア」は、このような end of life stage における医療の原点である死生学より発生したと考えられた¹⁾。

現在の「口腔ケア」の捉え方では、「口腔ケア」とは、口の中を清潔に保つことで、口腔内だけでなく体全体の健康を保つケアのことであるとされる。この言葉が生まれた背景には、介護を必要とする高齢者数の増加という日本社会の現状がある。加齢とともに体の機能が衰えると、自力で口腔環境を整えることが難しくなるため、介護者が代わりに高齢者の口腔内に気を使ってあげる必要が出てくる。すなわち、入所高齢者にとって「口腔ケア」

は生命維持のために必要不可欠なものである。

「口腔ケア」の重要性

口腔機能が低下すると、「噛んで味わう」「飲み込む」といった動作をスムーズに行えなくなるため、十分な栄養を摂取できなくなる。栄養不足状態が続くと、運動機能の低下や認知症の進行、さらなる摂食障害につながる可能性がある。「口腔ケア」は、歯磨きや口腔内の洗浄で歯周病などを予防するだけでなく、摂食トレーニングや誤嚥性肺炎の予防といった高齢者の身体機能の回復につながる内容も含む。「口腔ケア」を適切に行えば、高齢者に「おいしく食べる」という生きがいを取り戻させられるばかりか、介護をする側の負担を軽減させることもできる2)。

「口腔ケア」の2つの種類

「口腔ケア」には「セルフケア」と「プロフェッショナルケア」がある。

セルフケアとは、歯ブラシやフロス、歯間ブラシなどを使って自分自身で口腔内を清潔に保つことである。

一方、プロフェッショナルケアでは、歯科医や歯科衛生士などの専門家が口の中と全身の状態を見て、より専門的なケアとアドバイスをする。ケアの目的は、歯石・細菌・汚れの除去、口腔機能の維持と回復、日々の食生活の改善などである。

口腔内と体の健康を保つには、セルフケアとプロフェッショナルケアの両方を取り入れることが大切である。なお、最新の知見では、看護職や介護職の実施する「口腔ケア」は歯科専門職の実施する「プロフェッショナル口腔ケア」とは一線を画するものとされている2)

。すなわち、今回の高齢者施設の閉鎖に伴って、高齢者施設からプロフェッショナル口腔ケアが断たれた状態が続いている。

経過報告

1. 訪問歯科診療アンケート作成と発信

令和2年5月8日金曜日に戸原教授、砂川会長、小島歯科医師（八千代市歯科医師会会員）に同問題を提示した。9日には、中林歯科医師（千葉県歯科医師会委員）が同プロジェクトに参入した。10日日曜日には、千葉県歯科医師会委員会内で訪問歯科診療アンケートが完成した（図1）。

歯科訪問診療に関するアンケートのお願い

新型コロナウイルスの影響で、口腔ケアを中断したことによる誤嚥性肺炎や歯周病の進行が懸念されています。思うように歯科治療を受ける事が出来ず不自由をおかけしているのではと憂慮しております。つきましては、今後の歯科訪問診療の方針を検討するためにアンケートにご協力をお願いいたします。

該当する箇所に☑を入れてください。

①現在、歯科訪問診療を受け入れていますか？

YES NO 自費中だが緊急時のみ対応中

②コロナ感染の心配がある今、歯科訪問診療を受け入れる事について不安はありますか？

YES NO

③*①で NO の施設のみにお聞きします。どのくらいの期間、歯科訪問歯科(口腔ケア)を中断していますか？

1か月以内 2か月以上

④*①で NO の施設のみにお聞きします。歯科訪問診療が行われていない経緯は何ですか？

元々受け入れてない 施設側から歯科訪問診療を自粛している
 歯科診療所から自粛されている 双方で相談して中断を決めた

⑤*①で NO の施設のみにお聞きします。いつ頃再開を考えていますか？

そろそろ再開したい 暫く経過をみていく 緊急事態宣言が終わるまで

⑥現在、入居者の方で問題はありましたか？(複数回答可)

肺炎(新型コロナウイルス以外)を起こした 発熱(新型コロナウイルス以外)があった
 虫歯の痛み 歯内の腫れと痛み 入れ歯で不都合 差し歯、詰め物が取れた
 食欲が落ちて体重が落ちるなどがある むせる等の摂食嚥下に関する問題がある
 夜に咳込んだり、痰が絡む、朝熱が出るなどがある
 口腔ケアができない
 その他 ()

⑦今後の緊急時に備えて歯科治療や口腔ケアに関して知っておきたい事 ありますか？

ご協力ありがとうございました。口腔に関することでお困りのことがございましたら、千葉県
歯科医師会 地域包括ケア歯科医療連携室 043-241-8020 までご相談ください。

千葉県歯科医師会は、HPにて県民に向けたメッセージを発信しています。

また、このアンケート結果を受けて、施設の皆様に向けてメッセージを発信する予定です
で、右記 QR コードからご覧ください。

11日月曜日に、10日間の期限で千葉県歯科医師会関連77施設に同アンケートを発信した。
八千代市では12日火曜日に八千代市社会福祉協議会に同プロジェクトの依頼を出し、14
日木曜日から10日間の期限で同アンケートを発信した。

2. 集計結果

1) 千葉県歯科医師会

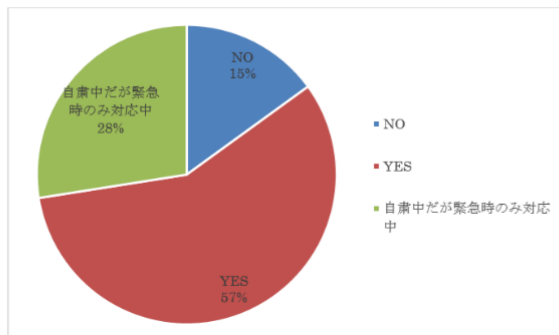
11日月曜日に10日間の期限で千葉県歯科医師会関連77施設に同アンケートを発信した。
施設送付77施設中、回答数40施設、回答率51.9%であった。

① 現在、歯科訪問診療を受け入れていますか？ (図2)

受け入れありが 57%，自粛中だが緊急時のみ対応が 28%，受け入れなしが 15%であった。

①現在、歯科訪問診療を受け入れていますか？

YES NO 自粛中だが緊急時のみ対応中

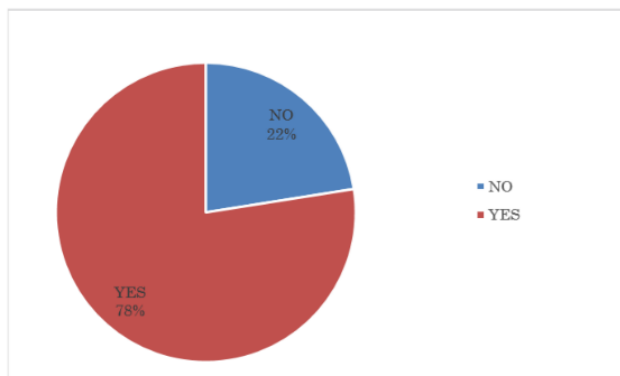


② コロナ感染の心配がある今、歯科訪問診療を受け入れることに不安はありますか？（図 3）

不安ありが 78%，不安なしが 22%であった。

②コロナ感染の心配がある今、歯科訪問診療を受け入れる事について不安はありますか？

YES NO

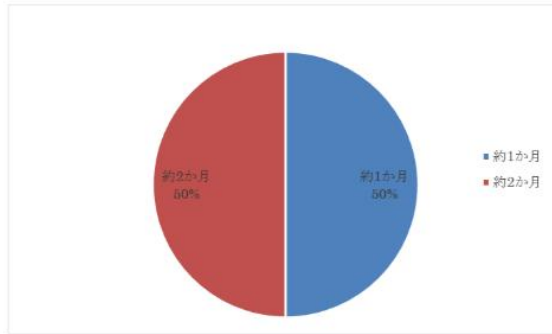


③ どのくらいの期間、歯科訪問診療（口腔ケア）を中断していますか？（図 4）

1 か月が 50%，2 か月が 50%であった。

③*①でNOの施設のみにお聞きします。どのくらいの期間、歯科訪問歯科(口腔ケア)を中断していますか？

- 約1か月 約2か月 3か月以上

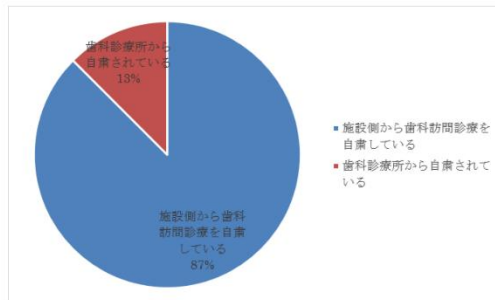


④ 歯科訪問診療が行われていない経緯は？ (図5)

施設側から歯科訪問診療を自粛しているが87%, 歯科診療所から自粛されているが13%であった。

④*①でNOの施設のみにお聞きします。歯科訪問診療が行われていない経緯は何ですか？

- 施設側から歯科訪問診療を自粛している 歯科診療所から自粛されている 双方で相談して中断を決めた

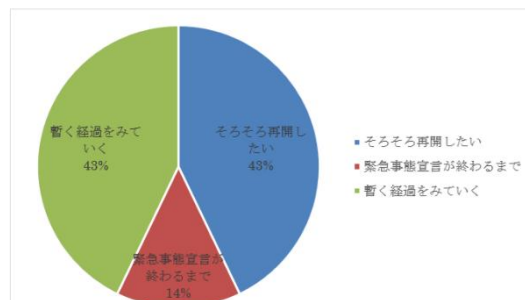


⑤ いつ頃再開を考えていますか？ (図6)

そろそろ再開したいが43%, 暫く経過を見ていくが43%, 緊急事態宣言が終わるまでが14%であった。

⑤*①でNOの施設のみにお聞きします。いつ頃再開を考えていますか？

- そろそろ再開したい 暫く経過をみていく 緊急事態宣言が終わるまで

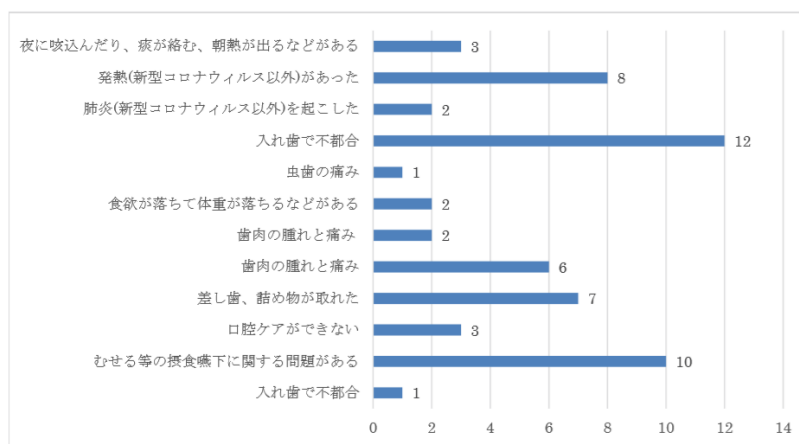


⑥ 現在、入居者の方で問題はありましたか？（図7）

義歯・詰め物が38%，口腔ケア・摂食嚥下が23%，発熱・肺炎が23%，歯肉の腫脹が14%，むし歯が2%であった。

⑥現在、入居者の方で問題はありましたか？(複数回答可)

- 肺炎(新型コロナウイルス以外)を起こした
- 発熱(新型コロナウイルス以外)があった
- 虫歯の痛み
- 歯肉の腫れと痛み
- 入れ歯で不都合
- 差し歯、詰め物が取れた
- 食欲が落ちて体重が落ちるなどがある
- むせる等の摂食嚥下に関する問題がある
- 夜に咳込んだり、痰が絡む、朝熱が出るなどがある
- 口腔ケアができない
- その他 ()



2) 八千代市歯科医師会

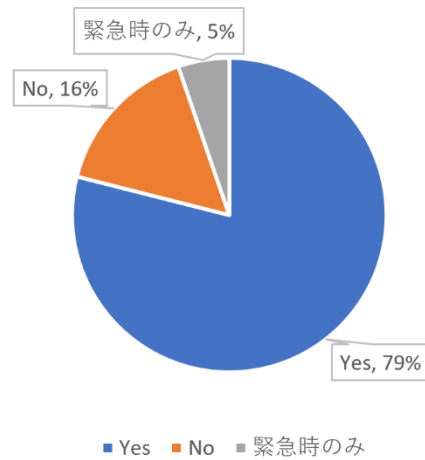
12日火曜日に八千代市社会福祉協議会に同プロジェクトの依頼を出し、14日木曜日から10日間の期限で同アンケートを発信した。

施設送付20施設中、回答数19施設、回答率95%であった。

① 現在、歯科訪問診療を受け入れていますか？（図8）

受け入れありが79%，自粛中だが緊急時のみ対応が5%，受け入れなしが16%であった。

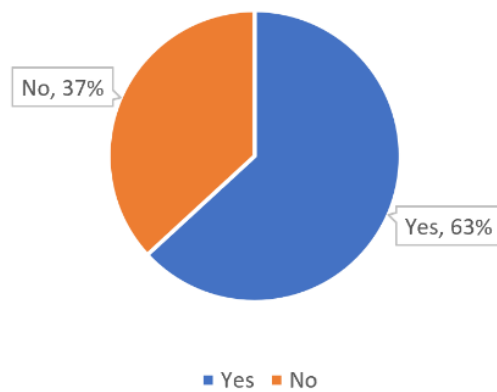
現在、歯科訪問診療を受け入れてますか？



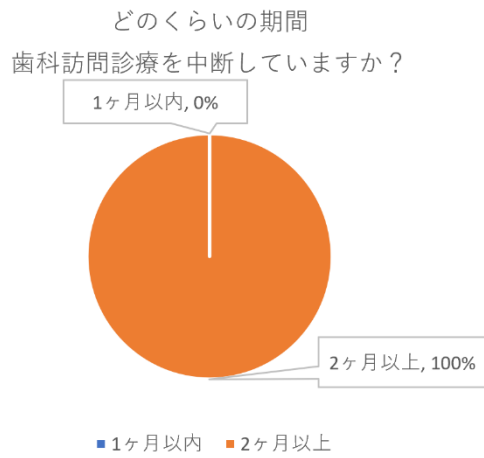
② コロナ感染の心配がある今、歯科訪問診療を受け入れることに不安はありますか？（図9）

不安ありが63%，不安なしが37%であった。

歯科訪問診療の受け入れに不安がありますか？



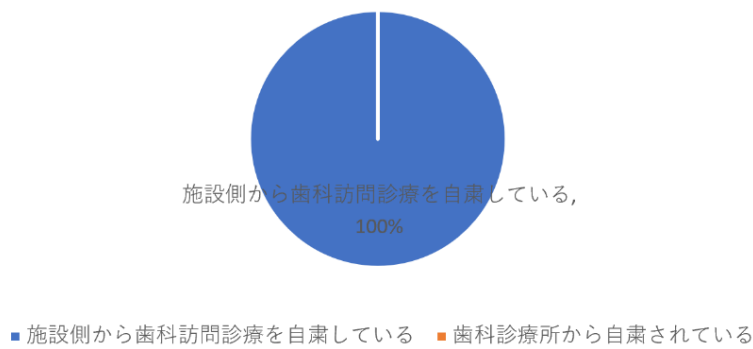
③ どのくらいの期間、歯科訪問診療（口腔ケア）を中断していますか？（図10）
2か月以上が100%であった。



④ 歯科訪問診療が行われていない経緯は？ (図 11)

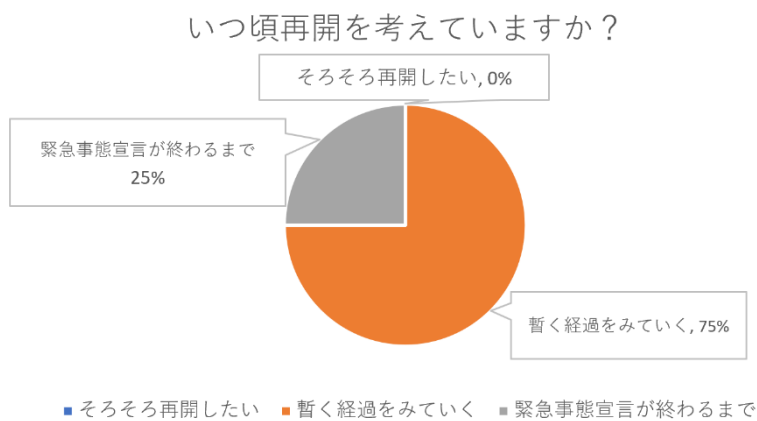
施設側から歯科訪問診療を自粛しているが87%, 歯科診療所から自粛されているが13%であった。

歯科訪問診療が行われていない経緯は？



⑤ いつ頃再開を考えていますか？ (図 12)

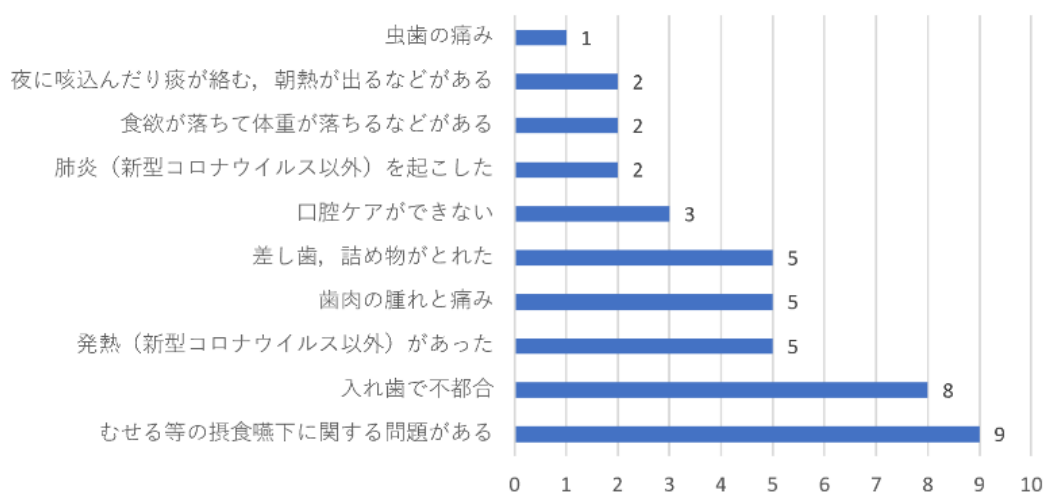
暫く経過を見ていくが75%, 緊急事態宣言が終わるまでが25%であった。



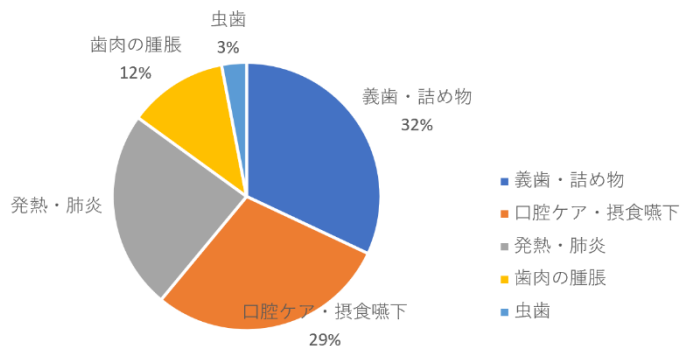
⑥ 現在、入居者の方で問題はありましたか？（図 13-1, 13-2, 13-3）

義歯・詰め物が 32%，口腔ケア・摂食嚥下が 29%，発熱・肺炎が 24%，歯肉の腫脹が 12%，むし歯が 3%であった。

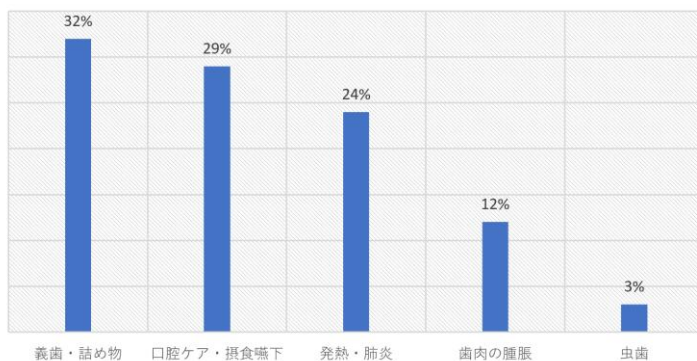
入居者の方で問題はありましたか？



入居者の方で問題はありましたか？



入居者の方で問題はありましたか？



3. 情報発信

1) 千葉県歯科医師会

千葉県歯科医師会では、集計結果を踏まえた情報を砂川会長自ら「新型コロナウイルス対策 Vol.2 歯科訪問診療等への提言」と題して、21 日木曜日に YOU TUBE 発信した。今後は、千葉テレビ等マスコミを通じて本情報を発信し、高齢者施設などにおいて「口腔ケア」等でお困りの高齢者等への対応を進めていく予定である。

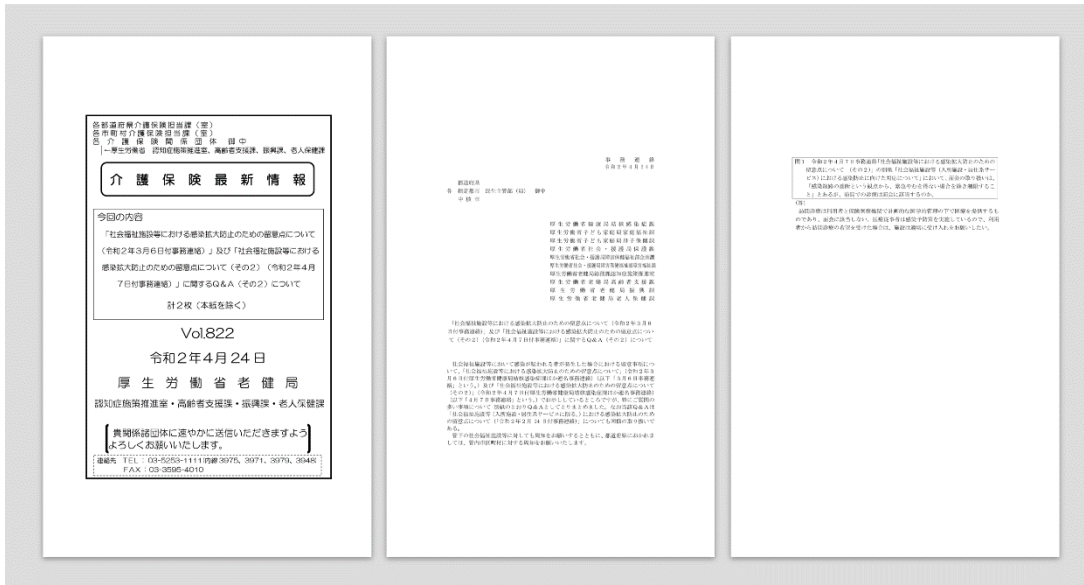
2) 八千代市歯科医師会

八千代市歯科医師会では、23 日土曜日に 95%の回収率で回答を得て集計を行った。集計結果をパワーポイント資料として協力いただいた 19 施設と八千代市社会福祉協議会に情報提供を行った。25 日月曜日、八千代市社会福祉協議会承諾の元、訪問歯科診療アンケート協力 19 施設に、今回の調査結果を踏まえた上で、訪問歯科診療、特にプロフェッショナル口腔ケアや摂食嚥下リハビリテーションでの介入希望があるかを問い、八千代市歯科医師会訪問歯科診療協力医や摂食嚥下リハビリテーション協力医と協力対応して、高齢者の健口サポートをしていく所存である。

4. 考察と結論

今回のアンケート調査からいろいろな情報が提供された。緊急事態宣言下においても、粛々と訪問歯科診療を受け入れている施設が千葉県で 85%、八千代市で 84%と多かった。しかし、それに反して、当初より懸念していた「口腔ケア」不備に伴う諸症状（口腔ケア・摂食嚥下・発熱・肺炎）は、千葉県で 46%、八千代市で 53%と想定以上の値を示した。施設に赴いている訪問歯科医師にも、もう少し「口腔ケア」の重要性や摂食嚥下リハビリテーションを勉強してもらいたいものである。この数字は、担当者の技量不足による結果と考えねばならないであろう。

また、今回のアンケート調査から訪問歯科診療の受け入れに不安を抱いたり、または中断し、施設側から訪問歯科診療を自粛している施設が多数見受けられた。今回は、緊急事態宣言という過去に前例のなかった事態である。不要不急の外出禁止令など一般市民への生活制限も多い中、高齢者施設では、入居者を守るためにも外来からの侵入者を制限するのは当然であったと考える。これは、一重に歯科からの情報が不足していたのが原因であろう。今回の研究結果を提示することで「プロフェッショナル口腔ケア」の必要性を理解していただき、施設への歯科の介入がスムーズになれば幸いである。さらには、厚労省 介護保険最新情報 Vol.822 令和 2 年 4 月 24 日 として「訪問診療は利用者と保険医療機関で計画的な医学的管理の下で医療を提供するものであり、面会に該当しない。医療従事者は感染予防策を実施しているので、利用者からの訪問診療の希望を受けた場合は、施設は適切に受け入れをお願いしたい。」との通達もある（図 14）。



今回のプロジェクトにおいて最初に考えたのは、緊急事態宣言下での高齢者施設の閉鎖に伴う高齢者の「口腔ケア」の不足であったが、私達歯科医師が施設に向き、実際に入居者から依頼されると考えられる一般歯科的な問題点なども取り入れて、更には、口腔ケアの不備によって想定される摂食嚥下障害とそれに伴って併発される発熱や肺炎も踏まえた内容のアンケートを東京医科歯科大学戸原教授のアドバイスの元、千葉県歯科医師会で作成した。本プロジェクトの発想からアンケート完成まで土・日曜日を挟んで実質2日での完成であった。しかも、3日目の月曜日には、各関係施設でのアンケート調査が開始された。さらには、配信から10日目に砂川会長の「新型コロナウイルス対策 Vol.2 歯科訪問診療等への提言」がYOU TUBE発信され、25日にはWHITE CROSS から「歯科訪問診療への提言 千葉県歯科医師会」が発信された。八千代市においても千葉県歯科医師会を見習い、アンケート調査開始から10日目で集計を終えて、24日日曜日に報告書を作成した。25日には、アンケート調査協力19施設と八千代市社会福祉協議会に集計結果の情報提供を行い、協力19施設での口腔ケアや摂食嚥下リハビリテーションを含めた八千代市歯科医師会の介入希望を募り始めた。

今回の新型コロナウイルス問題対策で一番浮き彫りにされたのが、迅速な対応・判断力・決断力である。それに伴って、施設の入居高齢者など生活弱者を救済することが私達歯科医師にはできる。今回の「高齢者施設での口腔ケア」問題は一つのきっかけに過ぎない。これからも疑問に思ったこと、私達歯科医師で出来ることは、とことん追求して世の中を変革していきたいと考える。

参考文献

- 1) 坂口英夫：口腔ケアの歴史. 日口腔ケア会誌, 12(1)：5-14, 2008.
- 2) 米山武義：口腔衛生と口腔環境. 老年歯科医学：243-250, 2015,